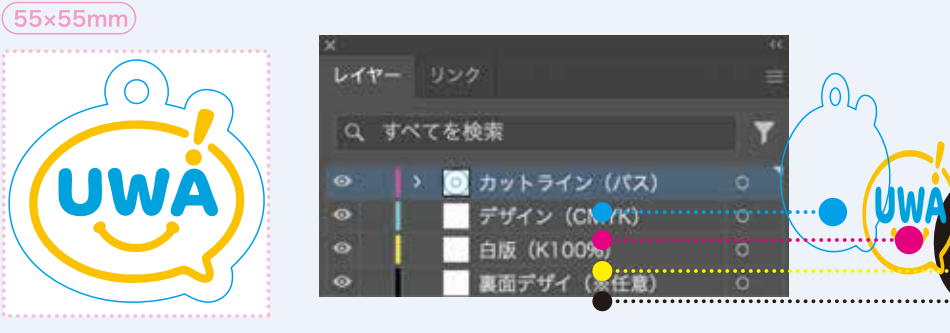


ご入稿いただくデータについて（基本ルール）

- ファイル形式は **Adobe Illustrator（.ai）** で保存してください。
- **PDF互換ファイルのチェックをして保存** ください。
- カラーモードは **CMYK** を使用してください。
◎RGB の場合、仕上がりがくすんだり色味が変わる可能性があります。
- **不要なオブジェクトやレイヤーは削除** してください。
- **レイヤー名は変更しないでください。新しいレイヤーも追加しない** ようお願いします。
- **カットライン、デザイン、白版は、指定サイズ内に各レイヤーごと** に収めてください。（※図 1）

図 1

データの作成は全て寸法内に収まるよう原寸で配置してください



デザインについて

- **オーバープリントは非対応です。** ※希望の場合は別途ご相談ください。
- デザインサイズは **20×20mm 以上** で作成ください。 ※それ以下のサイズをご希望の方別途はご相談ください。
- 解像度は **300～350dpi** が目安です。
- **埋め込み画像** で作成してください。◎リンク切れの防止のため。
- 文字はすべて **アウトライン化** してください。
- 効果・パターンなどは「**分割・拡張**」または「**ラスタライズ**」してください。

裏面デザインがある場合の注意点

- 裏面に文字を配置する場合は、**文字を左右反転させてください。**（※図 2）
◎印刷は表面と裏面のデザインを同一面に印刷するため、反転しないと裏から見たときに読めません。
- 裏面デザインは、**表面デザインと同じ位置・形状にぴったり重なるように作成** してください。（※図 2）

カットライン（カットパス）について

- カットラインは**必ず閉じたパスで作成** してください。
◎パスが途切れていたり、始点と終点が一致していない場合、正しくカットが行えず不良の原因となります。
- 線の太さは **0.1mm以上**（0.2pt 推奨）で作成してください。
- デザインとカットラインの距離は **1mm以上** 空けてください。（※図 3）
- カットライン同士の距離は **5mm以上** 空けてください。（※図 3）
- アンカーポイントが多すぎる・角が鋭すぎる・ねじれがあるパスはカットラインが綺麗な断面に仕上がりにません。
「オブジェクト→パス→単純化」 や「**スムーズツール**」などで滑らかにしてください。

図 2

裏面がある場合の入稿例



⚠ 裏面の文字を配置する場合は左右反転してください
シルエットが表デザインとぴったり重なるよう作成してください

仕上がりイメージ



図 3

⚠ デザインとカットパスの距離は
1mm 以上離れた箇所に作成ください



⚠ カットパスとカットパスの間は
5mm 以上離してください
※キーホルダーパーツ部分を除きます

NG

よくあるカットラインの NG 集 ⚠ 下記該当する場合、カットラインが綺麗な断面に仕上がらず、不良の原因となりますのでご注意ください



白版（白インク）について

- アクリル素材は透明なので、デザインをきれいに見せたい箇所には白版（**K100%**）を作成します。
◎白インクがない部分は透ける仕上がりになります。
- 白版は絵柄より **0.15mm** 内側に収めていただくことを推奨します。（※図 4）
◎印刷時に白インクが絵柄からはみ出してしまうのを防ぐためです。
- ◎デザインの意図によっては、白版を絵柄と一致または外側に設定していただくことも可能です。（※図 5）

図 4

⚠ 白版は絵柄より
0.15mm 内側に収めてください



図 5

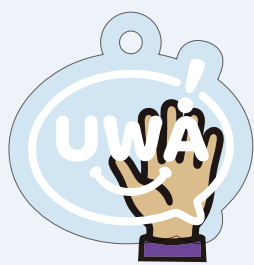
白版による仕上がりイメージ

白版のみで絵柄なしの場合

白版なしの場合

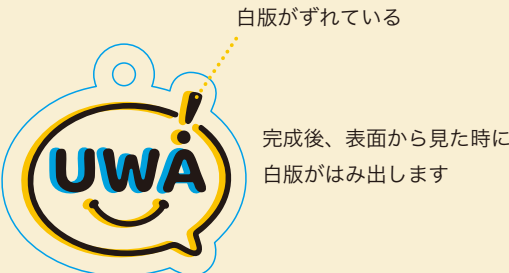
白版が絵柄のみにある場合

白版が絵柄からはみ出る
デザインの場合



NG

よくある白版の NG



⚠ 上記、不良の原因となりますのでご注意ください

データ不備・保証について

- ※**特殊な希望内容はご注文時のメモ欄もしくはお問い合わせください。**
- ※**上記に関わるデータ不備や印刷トラブルにつながる形式ミス等がある場合、保証対象外となる可能性がありますのでご注意ください。**
- ※**サポート側で確認できる明らかなデータ不備がある際は、再入稿をお願いするか、弊社で修正させていただくことができます。**
- ※**ご不明点がある場合は、お気軽にご相談ください。**